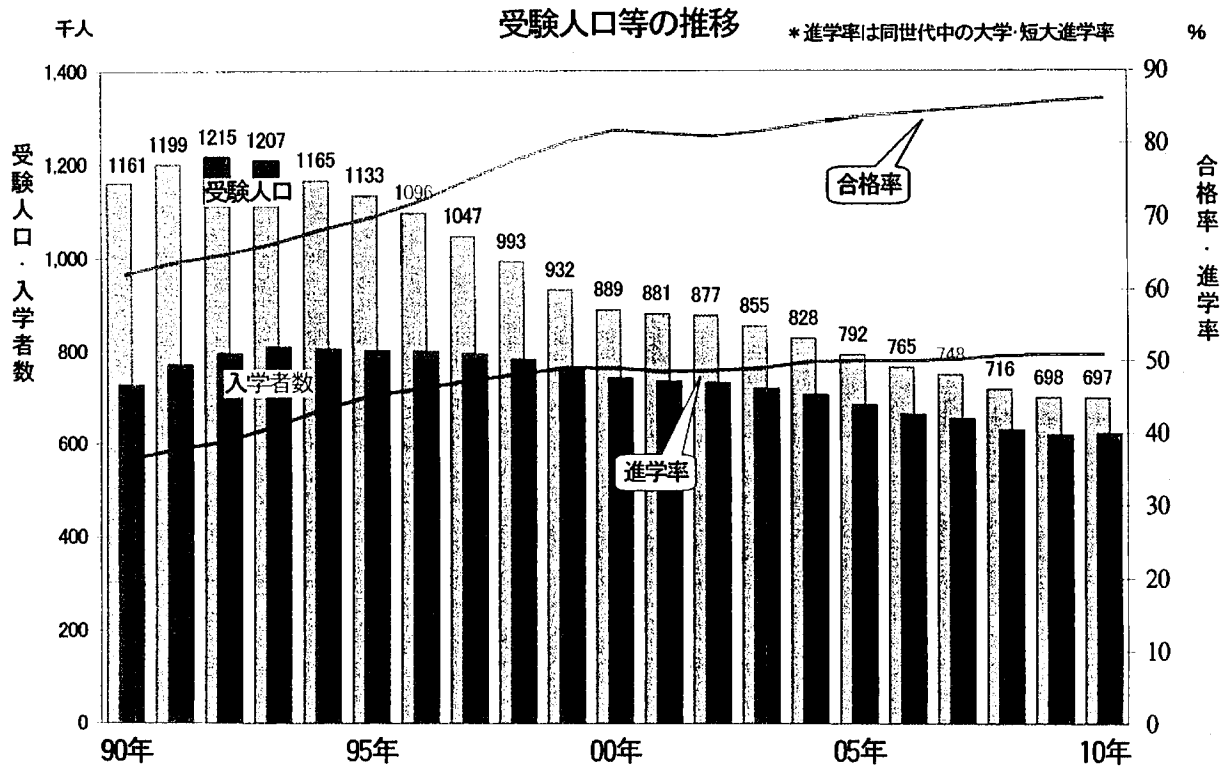


# 第1志望合格のために

# 受験対策 演習資料

2005年 ver1.1



## 代々木ゼミナール

www.yozemi.ac.jp

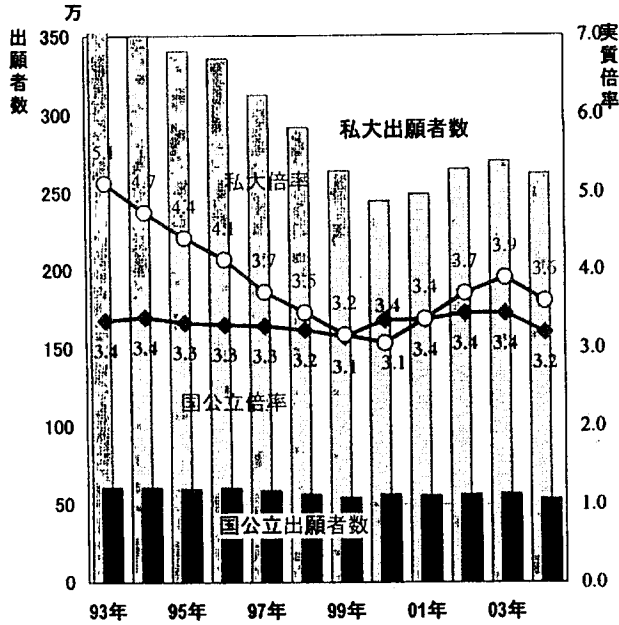
東京都渋谷区代々木 1-27

☎03-3379-5221(代)

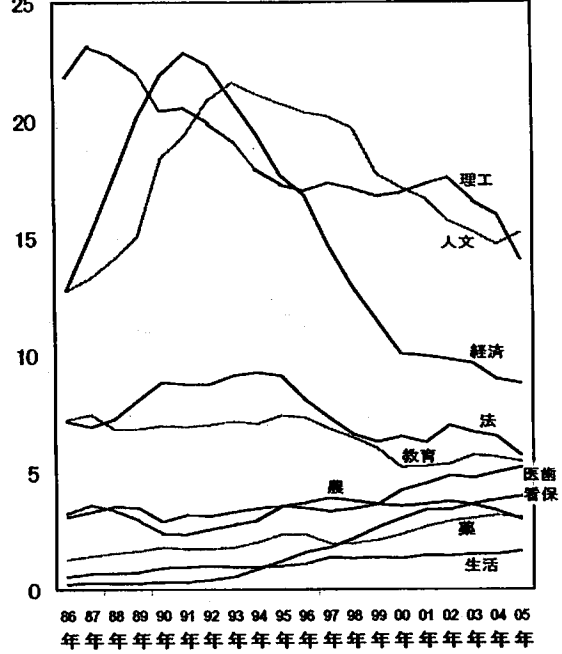
代々木校/原宿校/千駄ヶ谷校/池袋校/立川校/町田校/横浜校/湘南キャンパス/津田沼校/柏校/大宮校/  
 札幌校/仙台校/新潟校/高崎校/浜松校/名古屋校/  
 京都校/大阪校/大阪南校/神戸校/岡山校/広島校/福岡校/小倉校/熊本校  
 造形学校/横浜アトリエ/大阪学校

# 最近の入試状況

国公立・私立 出願者数と倍率の推移(一般選抜)



系統別の志望者数の推移(実人数)



## センターで何点必要か(国公立大学)

- \*各大学のおおむねの目標得点(得点率)です。
- \*学部・学科によって異なります。
- \*センターの問題の難易度によっても上下します。

センター得点率	主な国公立大学 (おおむねの目安)
90%以上	東大・理3 京大・医
85~90%	東大 京大 医学部
80~85%	他の旧帝大 一橋 東工
75~80%	筑波 東京外語 千葉 横国
70~75%	埼玉 電通 東京農工 新潟 金沢 静岡
65~70%	茨城 宇都宮 群馬 山梨 信州 富山
65%以下	夜間部

## 公開模試で何点なら合格できるか(私立大学)

- \*各大学の合格可能性60%の偏差値です。
- \*学部・学科によって異なります。
- \*総合大学の理工系学部は、表示したところより1ランク下です。

代ゼミ偏差値	主な私立大学 (おおむねの目安)
65以上	早大 慶大 上智大 旧制の医大
60~65	立教 明治 中央 学習院 東京理科大 その他の医学部 獣医学科 薬学部
55~60	青学 法政 成蹊 成城 明学 薬学部
50~55	日大 専修 駒沢 東洋 国学院 東海 神奈川 芝工大 武蔵工大
45~50	亜細亜 大東文化 国士館 拓殖
45以下	首都圏の周辺私大 新設私大 地方私大

## 実際の入試で何点とればいいのか(国公立)

すべて2004年入試前期

大学	学部	学科	満点	合格者最低点
東大	文	文1	550	364.3 (66%)
		文2	550	351.9 (64%)
		文3	550	341.5 (62%)
		理1	550	308.1 (56%)
		理2	550	309.4 (56%)
		理3	550	384.3 (70%)
東京農工	農	獣医	1300	1111.6 (86%)
東京農工	農	応用生物	1300	1018.0 (78%)
横浜国立	教人	学校-人-教	1200	904.7 (75%)
国立	経済	国際経済	1700	1050.7 (62%)
国立	工	建設-建築	1300	1019.9 (78%)
山梨	医	医	1600	1317.0 (82%)
		看護	1300	841.0 (65%)
信州	工	物質-生命工	1150	683.5 (59%)
		医	1200	1012.0 (84%)
富山医科薬科	理	生物科学	500	320.8 (64%)
		医	1700	1223.8 (72%)
静岡	人文	法	950	668.0 (70%)
		工	1400	917.0 (66%)

## 実際の入試で何点とればいいのか(私大)

2004年入試の合格者最低点

大学	学部	学科	一般入試		センター利用	
			満点	最低点	満点	最低点
早稲田	政経	法	230	166 (72%)	実施なし	
		法	150	97.5 (65%)	800	680 (85%)
慶應義塾	法	法律	450	248 (55%)	600	552 (92%)
		法律	350	224 (64%)	600	534 (89%)
明治	法	法	350	228 (65%)	500	435 (87%)
法政	現代福祉		300	203 (68%)	300	261 (87%)
駒沢	経済	経済	300	199 (66%)	500	365 (73%)
早稲田	理工	物理	180	107 (59%)	実施なし	
		社会環境工	180	94 (52%)	実施なし	
慶應義塾	理工(5学門の平均)		550	317 (58%)	実施なし	
東京理科	理	物理	300	158 (53%)	800	675 (84%)
		工	300	188 (63%)	800	657 (82%)
北里	薬	薬	400	281 (70%)	800	708 (89%)
		薬	300	172 (57%)	700	617 (88%)
芝浦工業	工	獣畜	300	205 (68%)	600	539 (90%)
		機械工	300	178 (59%)	600	450 (75%)

- \*センター利用のイタリック体は代ゼミによる推定。
- \*慶応・理工の2005年は調査書点数化なしで500点満点となります。

# センター試験の出題科目

教科	出題科目	時間
国語	〈国語〉	80分(200点)
地理歴史	〈世界史A〉 〈世界史B〉 〈日本史A〉 〈日本史B〉 〈地理A〉 〈地理B〉	60分(100点)
公民	〈現代社会〉 〈倫理〉 〈政治・経済〉	60分(100点)
数学①	〈数学Ⅰ〉 〈数学Ⅰ・数学A〉	60分(100点)
数学②	〈数学Ⅱ〉 〈数学Ⅱ・数学B〉 〈工業数理基礎〉 〈簿記・会計〉 〈情報関係基礎〉	60分(100点)
理科①	〈物理Ⅰ〉 〈地学Ⅰ〉	60分(100点)
理科②	〈理科総合A〉 〈化学Ⅰ〉	60分(100点)
理科③	〈理科総合B〉 〈生物Ⅰ〉	60分(100点)
外国語	〈英語〉 〈ドイツ語〉 〈フランス語〉 〈中国語〉 〈韓国語〉	80分(200点)
	リスニング (〈英語〉のみ)	30分(50点)

- ★〈国語〉は、近代以降の文章(2問 100点)、古典(古文(1問 50点)、漢文(1問 50点))。
- ★〈英語〉を選択する入学志願者は、筆記とリスニングの双方を解答すること。

## 《説明》

- ◎センター試験(現行課程)は左表の6教科28科目が出題されます。受験生はこの中から、志望大学が指定した教科・科目を受験します。
- ◎国立大学はほとんど(8割強)の大学で、センター試験 5(6)教科 7科目の受験が必要です。5(6)教科7科目の教科・科目の内容はおおむね下表の通りです。

	英語	国語	数①	数②	地歴	公民	理科	受験教科数
文系型	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6教科7科目
理系型	◎	◎	◎	◎	◎		◎◎	5教科7科目
文理型	◎	◎	◎		◎	◎	◎◎	6教科7科目
選択型	上記3パターンいずれかを選択受験							

- ◎一部の医学部医学科で理科が3科目必要となる大学もあります。
- ◎公立大学では、5(6)教科7科目の大学、4教科以下でよい大学と大学によってさまざまに異なります。
- ◎地歴の「A」、数学の「Ⅰ」「Ⅱ」は不可としている大学が多くあります。
- ◎理科の「理科総合A」「理科総合B」は不可としている大学があります。
- ★各大学の入試科目の詳細は『代ゼミ データリサーチ』(Vol.2 または Vol.3)に一覧表が掲載されます。

### センター試験の受験料(2005年)

- 3教科以上受験=16,000円
- 2教科以下受験=10,000円
- \*成績開示希望者は別途800円



## センター試験の志願者数

2005年 ( )は前年

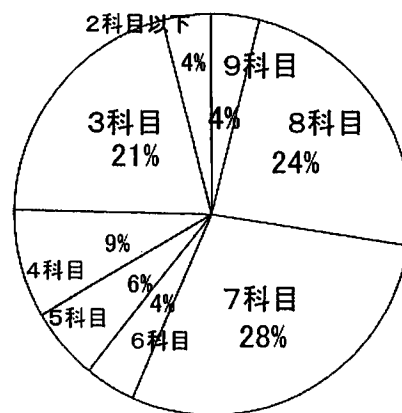
志願者数	569,950人 (587,350人)
(うち現役生)	421,830人 (426,839人)
受験者数	524,603人 (540,446人)

## センター試験の平均点

教科・科目名	02年度	03年度	04年度	05年度	
国語	国語Ⅰ・Ⅱ	112.68	101.08	114.15	119.55
地理歴史	世界史B	59.88	56.53	61.47	63.16
	日本史B	58.71	63.93	56.52	59.27
	地理B	66.34	54.99	62.11	70.22
公民	現代社会	60.49	59.53	57.27	70.22
	倫理	65.58	60.66	69.87	67.03
	政治・経済	52.45	62.95	61.49	64.55
数学	数学Ⅰ・A	63.78	61.17	70.17	69.43
	数学Ⅱ・B	59.22	49.84	45.65	52.47
理科	物理ⅠB	61.01	61.60	62.92	59.97
	化学ⅠB	57.48	61.81	54.30	66.06
	生物ⅠB	62.85	66.98	62.67	51.58
	地学ⅠB	61.19	56.83	63.68	64.05
外国語	英語	109.68	126.82	130.11	116.18

(注) 国語と外国語は200点満点、他は100点満点。

## センター試験の受験科目数別の人数割合(2005年)



### 地歴公民・数学・理科2科目受験の割合

	受験者の実数	左記のうちの割合	
		2科目受験者	3科目受験者
地歴公民	451,740人	51.7%	—
数学	384,866人	88.1%	—
理科	370,148人	60.0%	7.2%

# センター試験の出題内容 2005年本試験

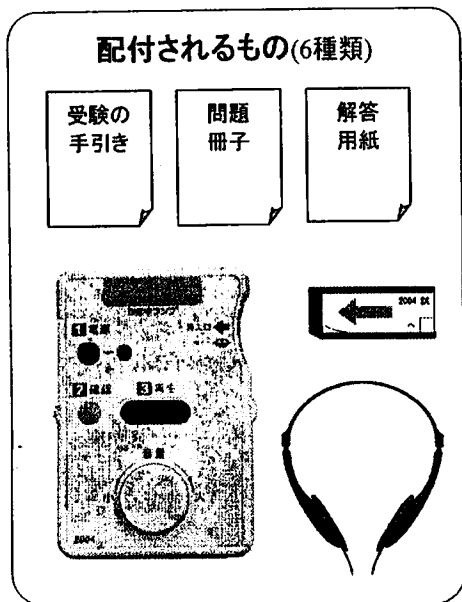


教科・満点・解答時間	大問の内容	問題数と配点	標準解答時間
<b>英語</b> 200点 80分 	<b>第1問</b> アクセント／文強勢 <b>第2問</b> 文法・語彙・語法 対話文の完成(空所補充) 語句整序英作文 <b>第3問</b> 文章の完成(語句補充／文整序／適文補充) <b>第4問</b> 読解問題[読解文+図表](図表読み取り読解) <b>第5問</b> 読解問題[会話文+絵](会話文読解) <b>第6問</b> 読解問題[小説・物語](長文読解)	6問 16点 10問 20点 3問 6点 3問 12点 7問 34点 5問 35点 5問 32点 8問 45点	6分 8分 2分 5分 14分 14分 13分 18分
<b>国語(ⅠⅡ)</b> 200点 80分 	<b>第1問</b> 現代文(評論):『小津安二郎の反映画』(吉田喜重) 漢字問題 読解力問題(内容把握、具体例選択、要旨把握) <b>第2問</b> 現代文(小説):『肉親再会』(遠藤周作) 語彙力問題(文脈に沿った意味の把握) 読解力問題(心情説明、内容説明) <b>第3問</b> 古文:『日光山縁起』(室町時代) 語句解釈 文法(敬語問題) 読解力(理由説明、内容説明、和歌解釈) <b>第4問</b> 漢文:『千百年眼』(張燧) (語句の読み・意味、解釈、内容把握など)	5問 10点 5問 40点 3問 12点 5問 38点 3問 15点 1問 7点 4問 28点 9問 50点	4分 16分 5分 15分 6分 2分 12分 20分
<b>数学(ⅠA)</b> 100点 60分 	<b>第1問</b> 2次関数 確率・期待値 <b>第2問</b> 数と式 三角比 <b>第3問</b> 数列 <b>第4問</b> 平面幾何 <b>第5問</b> コンピュータ	7問 20点 5問 20点 5問 20点 4問 20点 7問 20点 8問 20点 6問 20点	12分 12分 12分 12分 12分 12分 12分
<b>数学(ⅡB)</b> 100点 60分 	<b>第1問</b> 三角関数 指数・対数関数 <b>第2問</b> 図形と式、微積分 <b>第3問</b> 平面ベクトル <b>第4問</b> 複素数平面 <b>第5問</b> 確率分布 <b>第6問</b> コンピュータ	9問 17点 6問 13点 11問 30点 9問 20点 8問 20点 7問 20点 7問 20点	10分 8分 18分 12分 12分 12分 12分
<b>地歴(日本史B)</b> 100点 60分 	<b>第1問</b> 通史(原始・古代～近現代の集落・都市) <b>第2問</b> 古代史(歴史書と歴史研究) <b>第3問</b> 中世史(中世の戦乱、寺社の造営・修理) <b>第4問</b> 近世史(近世の宗教と民衆、江戸時代の都市問題) <b>第5問</b> 近代史(初期の議会、戦前の政党内閣時代) <b>第6問</b> 近現代史(満州事変後の国際関係、1960年代の経済と政治)	6問 17点 6問 17点 6問 17点 6問 17点 8問 21点 4問 11点	10分 10分 10分 10分 13分 7分
<b>理科(物理ⅠB)</b> 100点 60分 	<b>第1問</b> 小問集合(波、熱、原子核、力学、電気) <b>第2問</b> 力と運動(摩擦とつり合い、2水平面上の物体の運動) <b>第3問</b> 熱とエネルギー(気体の断熱自由膨張、断熱圧縮) <b>第4問</b> 波動(音波による定常波、薄膜による光の干渉) <b>第5問</b> 電流と電子(直流回路、平行板コンデンサー)	5問 20点 5問 20点 5問 20点 4問 20点 5問 20点	12分 12分 12分 12分 12分

\*「標準解答時間」は、各科目の解答時間を、配点によって比例配分したものです。問題の難易度などは考慮していません。

# センター試験リスニングについて

2004年9月実施の試行テストによる



## リスニング試行テストの問題内容

問題	音声問題形式	設問数	内容
第1問	対話	6問	◆誕生日プレゼントの相談 ◆店の場所 ◆客とウェイトレスとのやりとり ◆買った物についてのコメント など
第2問	対話	7問	◆スケジュール ◆レストランの場所 ◆体調について ◆転勤の日程 など
第3問 A	対話	3問	◆レンタルビデオ店での会話 ◆買い物への行き方 ◆川原でのバーベキューの準備
第3問 B	対話(長め)	3問	◆今週の予定について(予定確認や日程約束)
第4問 A	英文(50語程度)	3問	◆人気のあるレストラン ◆買い物の予定 ◆会議の冒頭説明
第4問 B	講義(200語程度)	3問	◆環境問題(ビニール袋と紙袋、新聞のリサイクル)

## リスニング成績の扱い

(国公立大学)

リスニング成績を利用する。	142校
リスニング成績は利用しない。	21校
「筆記」、「筆記+リスニング」のどちらかよい方を採用。	1校
英語は課さない。	1校
未定。	3校

2005年2月現在判明分。学部により異なる大学もあるため、校数はのべ数である。

東大はセンターリスニングの成績は使わないが、2次試験(前期)でリスニングがある。

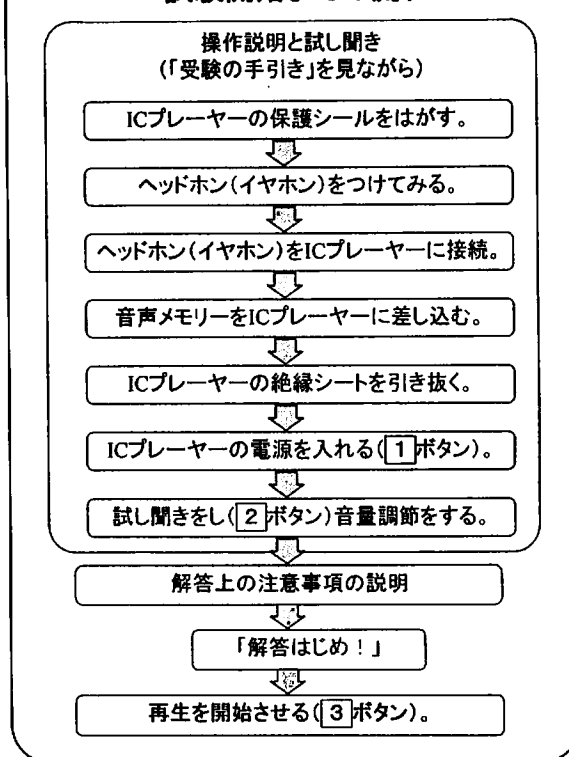
## リスニング成績を利用する大学例

(センター試験利用の私大)

\*の大学では利用しない学部・学科・方式がある。

青山学院*	津田塾	明治*
慶應(法)	東海	明治学院
国際基督教	東京女子	立教
駒沢*	東京理科	早稲田*
成蹊	東洋*	同志社
成城*	日本*	立命館*
専修*	日本女子	関西
中央	法政	関西学院

## 試験開始までの流れ

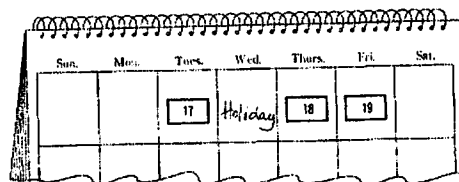


## リスニング試行テストの問題例

第3問B ここでは長めの対話を一つ聞いて、問17から問19までの三つの問いに答えなさい。この対話では、Yukikoと交換留学生のDavidが月曜日に登校して、今週の予定について話しています。火曜日、木曜日、金曜日の二人の予定として最も適切なものを、六つの選択肢(①~⑥)のうちから一つずつ選びなさい。

17 ~ 19

問17 17 問18 18 問19 19



これで第3問Bは終わりです。

# 入試の仕組み① 入試スケジュール

入試までのスケジュール(2006年入試の場合)

月	国公立大学・センター試験	私立大学の入試
7月	各大学の入試科目など発表	各大学の入試科目・入試日程などの発表
8月		
9月	上旬から「センター試験受験案内」の配付開始	入試要項(願書)の販売開始 * 開始時期は各大学によって異なる * 無料で配付する大学も多い。
10月	上旬～中旬 <b>センター試験への出願</b> * 現役生は高校で一括出願。浪人生は各自で郵送出願	
11月	各大学の入試要項(願書)の配付開始(無料) * 開始時期は各大学によって異なる	
12月	中旬まで センター試験の受験票の送付	
2006年1月	21・22日 <b>センター試験の実施</b> 代ゼミ・センターリサーチ集計(自己採点の集計)	
2月	30日～2月7日まで <b>各大学への出願</b> (前期1校 + 後期1校)	
3月	14日まで <b>第1段階選抜発表</b> 25日～ <b>前期試験</b> 10日まで <b>合格発表</b> 15日まで <b>入学手続き</b>	
	28日まで <b>第1段階選抜発表</b> 12日～ <b>後期試験</b> 24日まで <b>合格発表</b> 27日まで <b>入学手続き</b>	
		推薦入試 ↓ 大学からの依頼 ↓ 高校内選考 ↓ 出願 ↓ 選考(面接等) ↓ 合格発表
		私大のセンター利用入試への出願 事前出願 ↓ 合格発表 事後出願 ↓ 個別試験 合格発表
		通常入試への出願 ↓ 通常入試の試験実施 ↓ 合格発表
		3月入試(2次募集・後期入試)、センター利用後期などを実施

## 前期・後期とはなにか？

- 国公立大学は原則すべての大学が、定員を2つに分割して「前期試験」と「後期試験」を行います。それぞれ試験を行い、それぞれで合格者を決定します。  
\* ごく一部、「前期のみ」、「後期のみ」という大学もあります。
- 前期と後期の定員配分はほぼ前期8:後期2です。ただし、大学によって異なりますので、9:1の大学もあれば、逆に後期の方が多いという大学もあります。
- 前期に合格した人は3月15日までに入学手続きをしなければなりません。期日までに手続きをしないと入学の権利を失います。
- 後期は基本的には前期で不合格になった人が受けます。前期に合格しておいて後期を受験することはできませんが、前期の大学に入学手続きをしたら後期の合格者にはなりません。第1志望校は前期で受けるのがふつうです。

## 国公立大学への出願

- センター試験の受験後、1月下旬～2月上旬に国公立の全大学が一斉に出願受けをします(前期・後期とも)。
- 各受験生は、前期で1校+後期で1校の合計2つに出願ができます(前期と後期の組み合わせ方は自由)。

## 中期日程について

- 公立大学のごく一部の学部は前期でも後期でもない時期に試験を行います。3月8日ごろ行いますので、「中期日程」と言います。(実施大学は2006年入試の場合、12大学12学部)。
- 前期・後期への出願に加えて、中期日程の大学に1校出願できます。(出願期間は前期・後期と同じ)
- 秋田県の国際教養大学は、前期・中期・後期のいずれでもない全く独自の日程で行います。出願や入学手続きについても他の国公立大学のルールには規制されません。

# 入試の仕組み② 国公立大学の場合

国公立大学の入試は、センター試験と各大学の試験(2次試験)を組み合わせで行われます。

## センター試験

実施日=1月中旬の2日間(土曜と日曜)

出題科目=6教科28科目

国立大学は大部分の大学がセンター試験5(6)教科7科目の受験が必要です。その受験型はおおむね下表の通りです。

	英語	国語	数①	数②	地歴	公民	理科	受験教科数
文系型	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6教科7科目
理系型	◎	◎	◎	◎	◎		◎◎	5教科7科目
文理型	◎	◎	◎		◎	◎	◎◎	6教科7科目
選択型	上記3パターンいずれかを選択受験							

\* 公立大学では、5(6)教科7科目の大学、4教科以下でよい大学と大学によってさまざまに異なります。

## 2段階選抜(一部の大学のみ)

2次試験が受けられる人数を制限している大学があります。こうした大学では、センター試験の点数で「第1段階選抜」を行います。(いわゆる「足切り」)。これを通じた人だけが2次試験を受けられます。

例: 東大・文1の場合(2005年前期)  
「3倍で足切り」と予告  
↓ (募集人員 373名 × 3 = 1,119)  
実際は 1,458 人が出願  
↓ (1458 - 1119 = 339) → 339 人が門前払い  
1,119 人は通過

センター得点(800点満点)が570点以上の人が通過

各大学へ出願

## 2次試験(各大学の個別試験)

### 前期試験

試験実施=2月25日から

入試科目=大学によって異なりますが、学科試験が中心。難関校ほど科目が多く、2次試験の配点も高いという傾向があります。

大学・学部	2次試験の科目	配点 センター+2次
東大・文1	英、国、数、地歴2	110 + 440
東大・理1	英、国、数、理科2	110 + 440
一橋・経済	英、国、数、歴公1	210 + 790
東工大・4類	英、数、理科2	270 + 700
東京外語大	英、世界史	450 + 400
埼玉大・経済	英、国、数	900 + 900
電通大・屋主	英、数、理科2	450 + 550

\* 上表は2006年入試の科目・配点。ただし斜字体は2005年の配点。

合格発表=3月10日まで

入学手続き=3月15日まで

★前期の合格校に入学手続きした者は後期試験では合格者になれない。

### 後期試験

試験実施=3月12日から

入試科目=論文、面接、総合問題(総合科目)などが特徴的です。配点も、センターだけで決まるもの、センターは考慮されないものなど多様です。

大学・学部	2次試験の科目	配点 センター+2次
東大・文1	論文2種類	0 + 400
東大・理1	数または理、総合科目	0 + 500
一橋・経済	英、数、論文	200 + 800
東工大・4類	英、数、理1、論文	220 + 850
東京外語大	英	500 + 200
埼玉大・経済	試験なし(調査書のみ)	900 + -
電通大・屋主	英、数、理科2	450 + 550

\* 上表は2006年入試の科目・配点。ただし斜字体は2005年の配点。

合格発表=3月24日まで

入学手続き=3月27日まで

# 入試の仕組み③ 私立大学の場合

私大入試は、一般入試でもさまざまな「方式」を設定している大学が多いですが、基本は3教科入試です。

一般  
選  
抜

通常入試

### ◆私大入試の基本

- ◆入試科目=3教科入試が中心 ⇒  
★下位校では2教科入試も多い。

文系	英語、国語、地歴公民(1科目)または数学
理系	英語、数学、理科(1または2科目)

- ◆特徴 ○募集人員が多い。  
○入試状況が安定している。  
(出願者数、合格者数、倍率などの、年による変動が小さい)

複線入試

- ◆上記の通常入試と並行して行う、入試科目の少ない入試。
- ◆入試科目=2教科、1教科、小論文など
- ◆特徴 ○募集人員が少ない(全体の1割程度)。  
○入試状況が変動しやすい。倍率が高くなりがち。  
○上位校ではあまり実施していない。

後期入試

- ◆主に3月になって行う入試(2次募集)。
- ◆入試科目=2月の入試と同じ場合と、上記「複線入試」のような科目の場合とがある。
- ◆特徴 ○募集人員が少ない。  
○2月の入試の歩留まり状況によって、合格発表数が大きく変動する。

センター利用入試

### ◆センター試験成績を利用する入試。利用の仕方は次の4パターン。ほとんどが「別枠募集」。

別枠募集	個別試験なし	センター試験の成績だけで合否が決まる。出願締切りがセンター試験日より早い「事前締切り」と、センター後の「事後締切り」とがある。東京の有名私大(早・慶除く)は「事前締切り」が多い。
	個別試験あり	センター試験と個別試験(面接や論文など)を組み合わせ合否を決める。早大(法・商など)はこのタイプ。
	併用式	通常入試とセンター成績を組み合わせ合否を決める。この方式の採用大学は徐々に増えている。
全員必須		通常入試の志願者全員にセンター受験を義務付け。(ごくわずかの大学のみ)

推薦入試など

推薦入試はほとんどの私大で行われている。一般入試と異なる点は次の通り。

- 募集人員は大学により異なるが、全定員の1割~8割(平均4割。一般的にいうと下位校ほど多い)。
- 学力試験より、調査書、人物・性格、意欲、活動歴などが重視される。
- 選考は年内に行われる。結果発表は11月~12月。(AO入試はもっと早い募集もある)

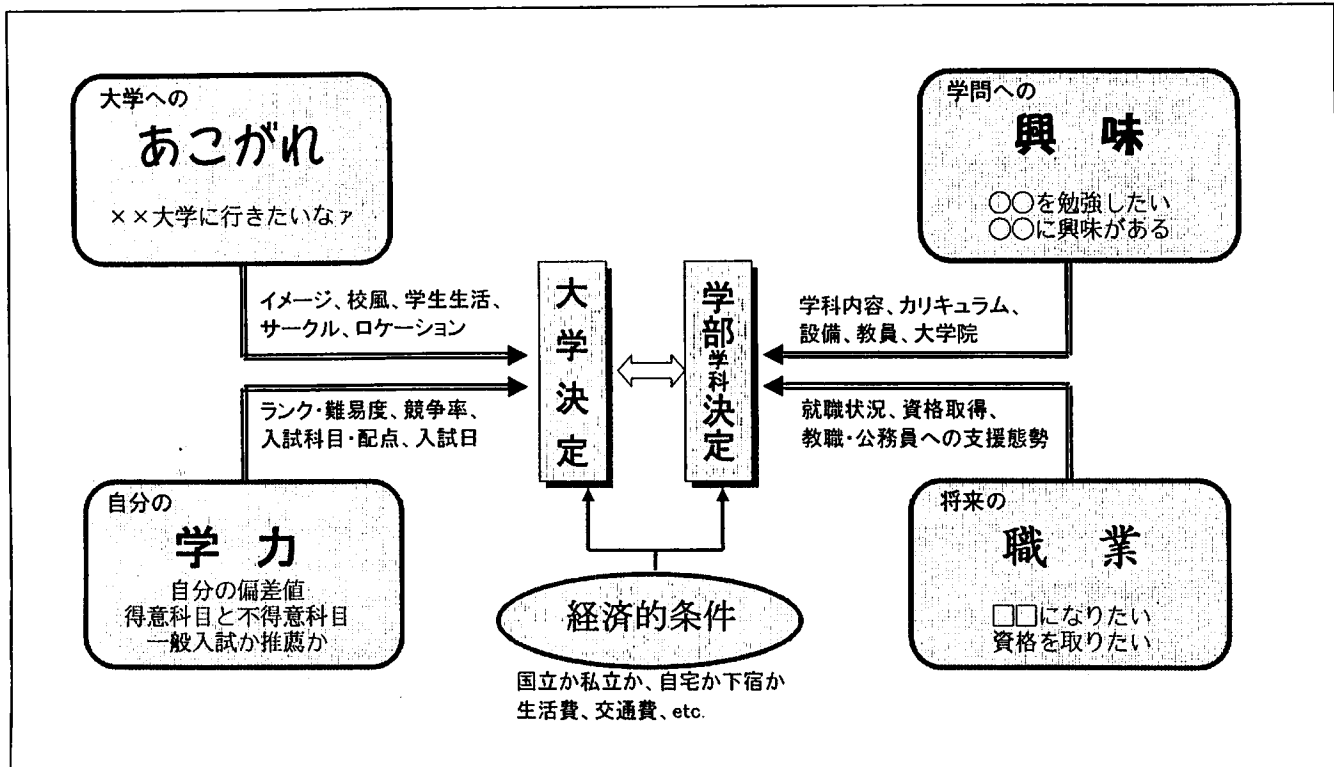
メリット=早く進学先が決まって安心。

デメリット=学力がまだ伸びている途中で入学校を決めなければならない。

推薦入試には、大きく分けて次の3タイプがある。

指定校推薦	大学が指定した高校からのみ推薦可能。推薦人数も指定される。現役生のみ。 選考方法=書類審査、面接、小論文など。 特徴=○推薦されればほとんど合格する。 ○合格したら必ず入学しなければならない。
公募制推薦	出願条件(評定値など)をクリアすれば誰でも出願できる。浪人OKの大学もある。 選考方法=面接、小論文、評定値など。学力試験を行う大学もある。 特徴=○一般入試と同じくらいの競争率になることもある。 ○合格しても入学辞退できるものもある。(他大学との併願も可能)
AO入試 自己推薦	受験生が大学に直接出願する。高校経由ではない。「高校長の推薦書」はいらぬ。 活動実績、取得資格、特技などが出願条件・選考基準となる。 選考方法=書類審査、小論文、面接など。 * 中には活動実績などの出願条件がまったくないAO入試もある(下位校で顕著)。 * 学科試験以上に難しい試験をするAO入試もある(特に有名校で)。

# 大学と学部・学科の、決め方・決まり方



## 主な職業・資格と大学の学部・学科

- \* 「関係する学部・学科」はその内容が最も近い、ということであり、他学部では不可能ということではない。
- \* 高卒・専門学校卒でも1次試験や認定試験からの受験などにより取得が可能なものもある。

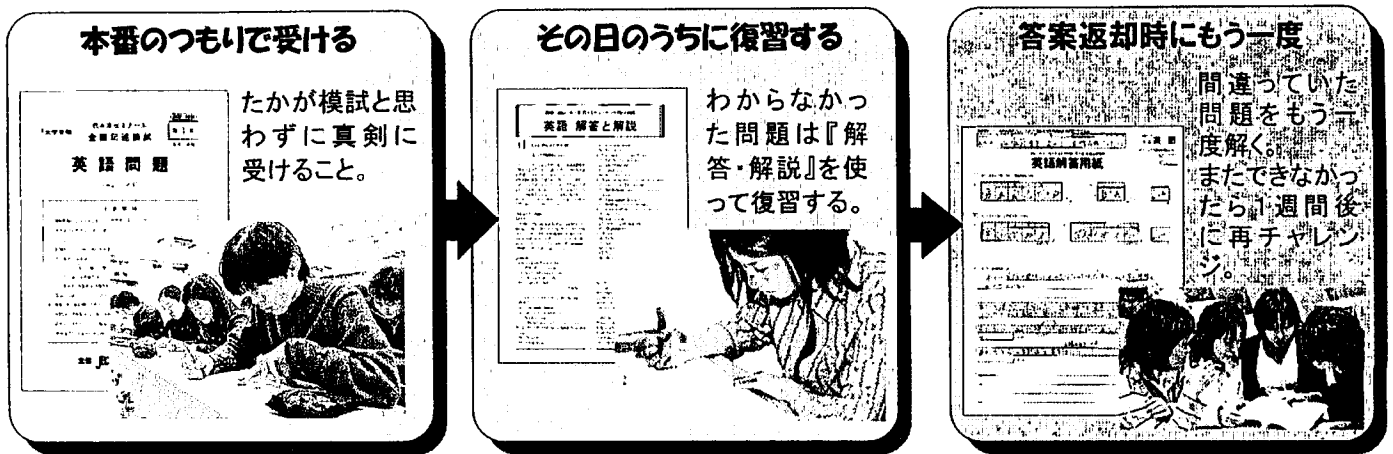
職業・資格とその内容	関係する学部・学科	職業・資格までのおおまかなルート
<b>法曹界</b> 弁護士、裁判官、検察官になる	法学部	大学⇒法科大学院(法学既習者2年、法学未習者3年)⇒新司法試験⇒司法修習⇒法曹三者
<b>公認会計士</b> 企業の依頼により、会計調査をし、監査報告書などを作成する	商・経営・経済の学部	大学・短大等⇒公認会計士試験(短答式4科目・論文式5科目)⇒業務補助・実務補習(2年間)⇒公認会計士名簿に登録 * 会計専門職大学院の修了者は試験の一部科目免除
<b>税理士</b> 納税についてのコンサルティング、手続代行	経済系学部、法学部	大学・短大等⇒税理士試験⇒実務2年以上⇒税理士会に登録
<b>不動産鑑定士</b> 官公庁・金融・不動産業などで不動産の鑑定	法律、経済、会計などの学科	大学・短大⇒2次試験⇒実務2年以上⇒不動産鑑定士補⇒実務補習1年以上⇒3次試験⇒不動産鑑定士
<b>社会福祉士</b> 公的機関・社福団体で福祉について相談援助活動	「福祉」の学科	福祉の学科⇒国家試験⇒社会福祉士 福祉の短大・専門学校⇒実務2年以上⇒国家試験⇒社会福祉士
<b>臨床心理士(カウンセラー)</b> 各種カウンセリング	「心理」に関する大学院	第1種・第2種指定大学院⇒(第2種指定は経験1年以上)⇒資格認定協会試験
<b>教員</b> 教員免許取得は難しくはないが採用状況は厳しい	教員養成系学部 その他の学部	教員養成系⇒教員免許取得⇒採用試験⇒公立学校教員 他学部+免許科目の履修⇒教員免許取得⇒採用試験⇒公立学校教員
<b>医師</b> 病院勤務医・開業医	医学科、歯学科(これ以外の学科では不可能)	医学部(6年)⇒国家試験⇒臨床研修2年以上⇒医師 歯学部(6年)⇒国家試験⇒臨床研修1年以上⇒歯科医師
<b>薬剤師</b> 病院・薬局の処方箋調剤 研究所で医薬品の研究	薬学部(これ以外の学部では不可能)	薬学部(6年、または学部4年+大学院2年)⇒国家試験⇒薬剤師
<b>看護師</b> 看護師	看護学科	看護学科(大学・短大)⇒国家試験⇒看護師 (準看護学校・看護学校のルートもある)
<b>臨床検査・放射線技師</b> 医師の指示で各検査を行う	各関連の学科	大学・短大・専門学校⇒国家試験⇒臨床検査技師・放射線技師
<b>獣医師</b> 家畜・ペットの診療や衛生指導、食品安全の検疫業務	獣医学科(これ以外の学科では不可能)	獣医学科(6年)⇒国家試験⇒獣医師
<b>一級建築士</b> 一定規模以上の建築物の設計は一級のみが可	工学系の建築学科など	大学⇒実務2年以上⇒一級建築士国家試験⇒一級建築士
<b>管理栄養士</b> 集団給食施設での管理・運営	管理栄養士専攻 食物関連の学科	食物の学科⇒実務1年以上⇒国家試験⇒管理栄養士 * 管理栄養士専攻は実務を免除

# 公開模試の受け方

入試傾向にあった模試を受ける(高3生用模試)

模試名	形式	国公立受験		私大受験	
		センター	2次試験	通常の入試	センター利用
↓全国センター模試 ↓センター試験プレテスト	マーク	○	●	○	○
↓全国記述模試	記述	●	○	○	●
↓私大模試	マーク・記述	●	●	○	●
↓大学別プレ(国公立系)	各大学に準ずる	●	○	●	●
↓国公立医学部模試	記述	●	○	●	●
↓大学別プレ(私大系)	各大学に準ずる	●	●	○	●
↓メディカル模試(私立医歯薬獣医)	記述	●	●	○	●

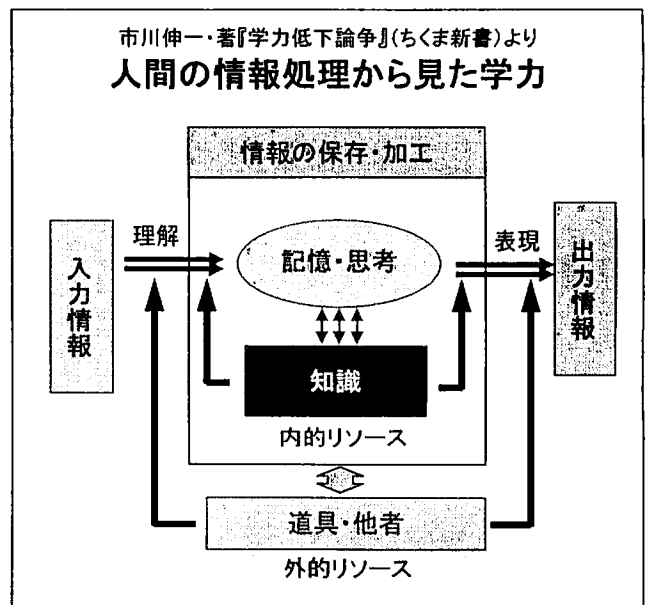
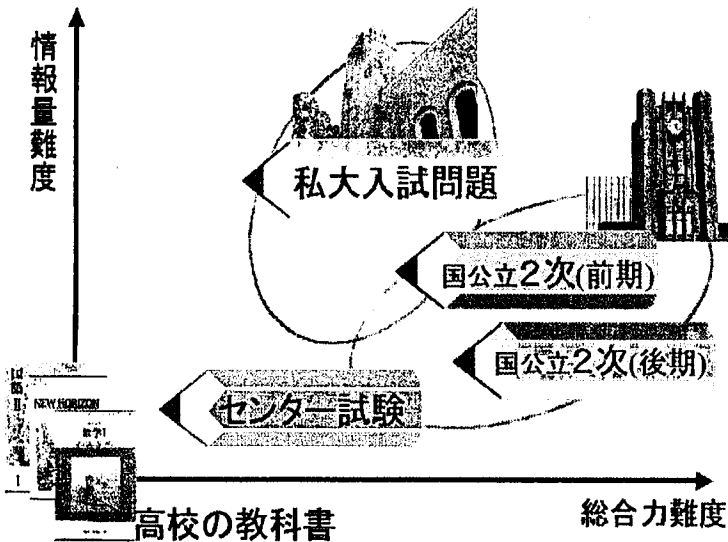
## 模試は受けた後が重要



## 高校の教科書と入試問題のレベルの関係



学校の中間・期末はできるのに、実力(公開模試)はできないのはなぜ?



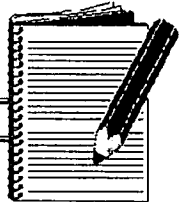
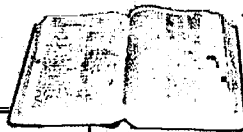
# 現役合格チェックテスト

以下の1~20が自分にあてはまるかどうか、Yes、Noで答えてください。

1. 教科書は学校のロッカーに並べてある。	Yes・No	11. 私の英語の辞書はキレイで汚れてない。	Yes・No
2. 日曜に起きると「のど自慢」をやってる。	Yes・No	12. 英語は単語さえ知っていれば読めるものだ。	Yes・No
3. 家で全く勉強しない日がある。	Yes・No	13. SとかVとかCとか、外国人はそんな読み方しないだろう。	Yes・No
4. 自分の部屋にテレビとゲームがある。	Yes・No	14. 国語辞典はどこにあるかわからない。	Yes・No
5. ケータイは私の命だ。	Yes・No	15. 新聞はスポーツ欄とTV面だけ見てオシマイ。	Yes・No
6. 勉強と友情は両立しない。	Yes・No	16. コミックだって立派な国語の勉強だ。	Yes・No
7. 受験勉強は文化祭のあとだ。	Yes・No	17. 古文は日本語だ。文法なんか知らなくても読めそうだ。	Yes・No
8. 私が勉強ができないのは親の遺伝だ。	Yes・No	18. 数学の予習はやっても意味がない。	Yes・No
9. 私ができないのは、先生の教え方が悪いからだ。	Yes・No	19. 数学の問題は答えを見てからやった方が効率的だ。	Yes・No
10. 勉強しなくても、特技があればどんな大学でも入れる。	Yes・No	20. 今日の「講演会」は退屈だった。	Yes・No

全部終わったら、Yesの数をかぞえてください。⇒  $100 - (\text{Yesの数} \times 5) = \text{現役合格率}(\%)$

## 現役生の学習法 (英・国・数)



教科	項目	具体的な勉強法	注意事項・コツ など
英語	a) 単語・熟語	①単語・熟語のノートやカードを作る。 ②単語集・熟語集をやる。	◆カラーペンなどを使って楽しく作る。 ◆頻出レベル別の編集のものがよい。 ◆意味だけでなく、語法も憶える。
	b) 文法・語法	①学校の授業の中と、その復習で。 ②予備校の講習をマメとして受ける。	◆辞書を引くの面倒がらない。 ◆「口をつけて出てくる」ほどまで例文を憶える。
	c) 精読	①学校の授業。 ②予備校の講習。	◆予習→授業→復習→テストで確認。 ◆つねに構造(文型、時制、関係詞など)を確認しながら読む。
	d) 多読・速読	①自分で読む(とくに夏休み)。	◆難しすぎないもの、厚すぎないものを選ぶ。
	e) 音読	上記 a)~d) でつねに声に出して読む。	◆声に出せば単語や語法も憶えやすい。発音の勉強にもなる。
国語 (現代文)	a) 語彙	①「国語辞典」を使うこと。	◆以下の b)~d) の時、いつも「国語辞典」を使うこと。ことばの「意味」と「使い方」を把握する。 ◆特に抽象語に注意。
	b) 漢字	①漢字問題集。②漢検にチャレンジ。	◆カキ・ヨミ・イミの3点セットで憶える。
	c) 精読	①学校の授業。②予備校講習。③問題集。	◆予習→授業→かるく復習、のサイクルで。
	d) 多読・速読	①新聞(文化欄など)、新書などを読む。	◆わからないことばは「国語辞典」を引く。
	e) 論述力	①教科書などの文章の要旨を50~200字程度にまとめる。②予備校講習・模試。	◆①は時間的に余裕のある週末や長期休みにやる。 ◆②はていねいに添削してくれるものがよい。
国語 (古文)	a) 文法	①学校の授業で。 ②いつも文法を確認しながら読むクセ。	◆「古文文法」の本はいつも手元に。 ◆忘れたらまた憶えればイイ。
	b) 古文の常識	①学校の授業で。	◆「古語辞典」を引いたら、用例や説明も読む。 ◆作品についての知識も読解に役立つ。
	c) 精読	①学校の授業で。②予備校の講習。 ③古文参考書。	◆“なんとなくわかる”ではダメ。文法的にも説明できるように。
数学	a) 基本事項	①学校の授業で。②予備校の基礎講座。 ③歯がたななかったテストの復習。	◆定理・公式はマル暗記ではなく、なぜそれが成立するかも理解して憶えること。
	b) 応用力	①学校の授業・予備校の講習。	◆必ず予習をする。ノートはキチンととる。 ◆図形、式はキチンと書くクセをつける。
	c) ヒラメキ力	①問題集。	◆毎日一定時間少しずつ問題を解く。

# 受験から入学まで How much ?

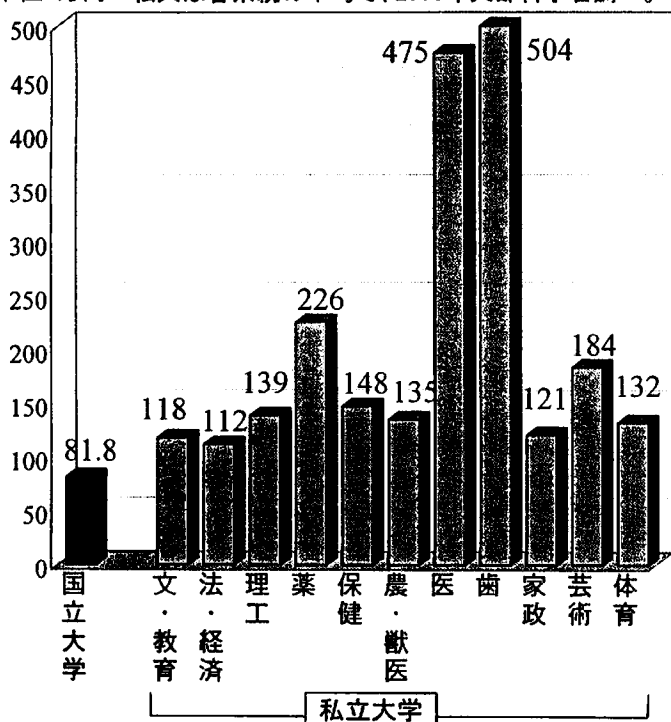
## 受験料(検定料) 主として2005年の数値

区分	受験料	備考
センター試験	16,000円	2教科以下受験は10,000円。
国立大学の2次試験	17,000円	公立大もほぼ同じ。夜間は10,000円。
私立大学	30,000円 ~ 35,000円	30,000円は地方大学に多い。医・歯は50,000円前後。センター利用(個別試験なし)は15,000円~20,000円程度。

- 国公立大学の前期と後期(合計2校)を受けると、センター16,000円+17,000円×2校=50,000円
- センター試験の成績開示手数料は別途800円。
- 私大のセンター利用入試も、センター受験料とは別に、各大学へ納める受験料が必要です。
- 私立大学では、同一大学に複数出願すると受験料が割引になる大学もあります。
- 私大の音楽系の中には40,000円~55,000円というところもあります。

## 学費(初年度納入金)

単位:万円 私大は各系統の平均で、2003年文部科学省調べ。



- 国立大学の納入金は、「標準額」×110%を上限として各大学が設定します。2005年度の「標準額」は入学金28万2000円、授業料(年額)53万5800円です。ごく一部をのぞいてほぼ全大学が標準額と同じ学費を設定しました。
- 公立大学は国立に近い金額ですが、設立自治体の出身者(または居住者など)以外は10万~20万円程度高くなります。
- 私立大学の医・歯系では教育充実費などが必要なため、初年度納入額の合計の実際は1000万円前後のところが多いです。(更にこの他に任意の寄付・学費などがあります)
- 私立大学の農・獣医のうち獣医学科は平均約220万円となります。
- 私立大学の芸術系のうち、美術系は平均約175万円、音楽系は平均約230万円です。

## 大学生活1カ月の生活費

2000年文部科学省調べ(年額を12で割った金額)

### 学費の納入方法(概略)

区分	概要
国立大学	入学手続き(入学金を納入) ↓ 入学後(4月)(授業料等を納入)
	2段階方式 第1次手続き(入学金相当を納入) ↓ 第2次手続き(授業料等を納入)
私立大学	返還方式 入学手続き(入学金・授業料等を納入) ↓ 返還期限(入学辞退の手続きにより入学金以外が返金される)
	延納方式 「返還方式」と同じだが、「延納願い」を提出すれば「2段階方式」になる

項目	自宅		自宅外		
	国立大学	私立大学	国立大学	私立大学	
収入	家庭からの給付	62,200円	109,050円	122,867円	180,608円
	奨学金	11,450円	16,125円	18,500円	22,025円
	アルバイト	27,708円	35,158円	25,558円	26,992円
	その他	5,383円	8,800円	4,467円	8,825円
	収入合計	106,741円	169,133円	171,392円	238,450円
支出	学校納付金	39,708円	92,350円	40,200円	98,592円
	その他勉学費	7,858円	8,042円	8,433円	8,833円
	通学費	9,550円	9,608円	1,567円	2,592円
	食費	9,767円	10,383円	27,108円	26,425円
	住居光熱費	133円	142円	47,275円	48,208円
	保健衛生費	3,117円	3,858円	3,292円	3,942円
	娯楽・嗜好費	11,450円	12,625円	13,775円	14,375円
	その他	12,467円	13,842円	13,958円	14,850円
	支出合計	94,050円	150,850円	155,608円	217,817円